

分数の虫食い算①（分母が ちがう たし算・ひき算）

なまえ _____

小5／分母を そろえて □に入る 分子を 見つける 6もん

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{3}}{4} + \frac{1}{6} = \frac{11}{12}$$

やりかた 答えから もどして、□の 分数を 見つける

① 分母を そろえる。4と6の 最小公倍数は 12。 $\frac{1}{6} = \frac{2}{12}$

② もどす。 $\frac{\boxed{}}{4} = \frac{11}{12} - \frac{2}{12} = \frac{9}{12}$

③ 約分する。 $\frac{9}{12} = \frac{3}{4}$ だから □は 3

ひき算の れい（□が ひく数） $\frac{4}{5} - \frac{\boxed{}}{3} = \frac{2}{15} \rightarrow \frac{\boxed{}}{3} = \frac{12}{15} - \frac{2}{15} = \frac{10}{15} = \frac{2}{3}$ □は 2

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 数を書こう。下の わくには、分母を そろえた 式を書こう。

A たし算 分母を そろえてから、□の 分数に もどそう _____

A1 $\frac{\boxed{}}{7} + \frac{1}{4} = \frac{23}{28}$

A2 $\frac{1}{6} + \frac{\boxed{}}{8} = \frac{19}{24}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

B ひき算 □が ひかれる数なら 答え+ひく数、ひく数なら ひかれる数-答え で もどす _____

B1 $\frac{\boxed{}}{7} - \frac{1}{3} = \frac{11}{21}$

B2 $\frac{5}{6} - \frac{\boxed{}}{9} = \frac{1}{18}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

C 答えが 約分して ある 答えも そろえた 分母に なおそう _____

C1 $\frac{\boxed{}}{3} + \frac{5}{12} = \frac{3}{4}$

C2 $\frac{9}{10} - \frac{\boxed{}}{5} = \frac{1}{2}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算②（分母が □）

小5／□に入る 分母を 約分で 見つける 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

やりかた 答えから もどして、さいごまで 約分する

$$\frac{2}{\boxed{5}} + \frac{1}{6} = \frac{17}{30}$$

① 分母を そろえる。6と30（答えの 分母）の 最小公倍数は 30。 $\frac{1}{6} = \frac{5}{30}$

② もどす。 $\frac{2}{\boxed{}} = \frac{17}{30} - \frac{5}{30} = \frac{12}{30}$

③ 約分する。 $\frac{12}{30} = \frac{6}{15} = \frac{2}{5}$ 分子が 2に なったので □は 5

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 分母を 書こう。もどした 分数は さいごまで 約分しよう。

1 $\frac{3}{\boxed{}} + \frac{1}{12} = \frac{11}{24}$

2 $\frac{1}{12} + \frac{7}{\boxed{}} = \frac{31}{36}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

3 $\frac{2}{\boxed{}} - \frac{5}{8} = \frac{1}{24}$

4 $\frac{3}{4} - \frac{2}{\boxed{}} = \frac{13}{28}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

5 $\frac{3}{\boxed{}} - \frac{1}{9} = \frac{23}{36}$

6 $\frac{1}{8} + \frac{5}{\boxed{}} = \frac{23}{24}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

たしかめ：□に 数を入 入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算③（□が 2つ）

小5/2つの □を 分子の 式で しぼる 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{2}}{3} + \frac{\boxed{1}}{4} = \frac{11}{12}$$

やりかた 分子の 式を 立てて、1組に しぼる

① 分母を 12に そろえると、左の □は 4ばい、右の □は 3ばい。

② 分子の 式は $4 \times \text{左} + 3 \times \text{右} = 11$ 。左は 3より 小さい。

③ 左が 1だと 右が 整数に ならない。左が 2なら $4 \times 2 + 3 \times 1 = 11$

④ だから 左は 2、右は 1。 $\frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{11}{12}$

ひき算の れい $\frac{\square}{4} - \frac{\square}{6} = \frac{1}{12} \rightarrow$ 分子の 式は $3 \times \text{左} - 2 \times \text{右} = 1$ 。組は 左1・右1 と 左3・右4 の 2つ。

組が 2つ できたら、約分できない 形の 組を えらぶ。 $\frac{4}{6}$ は 約分できるので、答えは 左1・右1。

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

2つの □に 入る 数 を 書こう。どの分数も 1より 小さく、約分できない 形だよ。

1 $\frac{\square}{7} + \frac{\square}{3} = \frac{16}{21}$

分子の 式

2 $\frac{\square}{5} + \frac{\square}{7} = \frac{29}{35}$

分子の 式

3 $\frac{\square}{5} - \frac{\square}{4} = \frac{11}{20}$

分子の 式

4 $\frac{\square}{4} - \frac{\square}{9} = \frac{11}{36}$

分子の 式

5 $\frac{\square}{6} + \frac{\square}{8} = \frac{23}{24}$

分子の 式

6 $\frac{\square}{6} - \frac{\square}{9} = \frac{7}{18}$

分子の 式

たしかめ：□に 数 を 入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算④（帯分数の ひき算）

小5／帯分数の ひき算で □を もどす 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$4\frac{1}{2} - 2\frac{\boxed{8}}{9} = 1\frac{11}{18}$$

やりかた ひけない ときは、整数から 1 くり下げて もどす

① 分母を そろえる。2と9の 最小公倍数は 18。 $\frac{1}{2} = \frac{9}{18}$

② もどす。 $2\frac{\boxed{}}{9} = 4\frac{9}{18} - 1\frac{11}{18}$

③ $\frac{9}{18}$ から $\frac{11}{18}$ は ひけないので、 $4\frac{9}{18} = 3\frac{27}{18}$

④ $3\frac{27}{18} - 1\frac{11}{18} = 2\frac{16}{18} = 2\frac{8}{9}$ だから □は 8

□が ひかれる数なら 答え+ひく数で もどし、分数の 部分が 1を こえたら 整数に 1 くり上げる。

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 帯分数の 分数の 部分は 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 数を書こう。分数の 部分が ひけない ときは、整数から 1 くり下げよう。

1 $4\frac{1}{5} - 2\frac{\boxed{}}{6} = 1\frac{11}{30}$

分母を そろえた 式

2 $5\frac{1}{6} - 2\frac{\boxed{}}{8} = 2\frac{19}{24}$

分母を そろえた 式

3 $5\frac{\boxed{}}{3} - 3\frac{4}{5} = 1\frac{13}{15}$

分母を そろえた 式

4 $3\frac{1}{4} - 1\frac{\boxed{}}{9} = 1\frac{29}{36}$

分母を そろえた 式

5 $5\frac{\boxed{}}{9} - 2\frac{5}{6} = 2\frac{17}{18}$

分母を そろえた 式

6 $3\frac{2}{5} - 1\frac{\boxed{}}{7} = 1\frac{19}{35}$

分母を そろえた 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算⑤ (3つの 分数)

小5/3つの 分母を そろえて □を 見つける 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{1}}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} = \frac{7}{12}$$

やりかた 3つの 分母を いったんに そろえる

① 2と3と4の 最小公倍数は 12。3つとも 12に そろえる。

② $\frac{1}{3} = \frac{4}{12}$ 、 $\frac{1}{4} = \frac{3}{12}$ 、 $\frac{\boxed{}}{2}$ は 分子が $6 \times \square$

③ 分子の 式 $6 \times \square + 4 - 3 = 7$ から $6 \times \square = 7 - 4 + 3 = 6$ 。□は 1

□の 前が -の ときは、ほかの 分子を 先に 計算して、その 数から 答えの 分子を ひく。

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に 入る 数を書こう。下の わくには、分子の 式を書こう。

1 $\frac{\boxed{}}{6} + \frac{1}{2} - \frac{4}{9} = \frac{8}{9}$

分子の 式

2 $\frac{3}{4} - \frac{2}{3} + \frac{\boxed{}}{9} = \frac{35}{36}$

分子の 式

3 $\frac{1}{4} + \frac{\boxed{}}{8} + \frac{1}{6} = \frac{19}{24}$

分子の 式

4 $\frac{1}{2} + \frac{4}{5} - \frac{\boxed{}}{3} = \frac{19}{30}$

分子の 式

5 $\frac{\boxed{}}{8} - \frac{1}{2} - \frac{1}{3} = \frac{1}{24}$

分子の 式

6 $\frac{1}{2} - \frac{\boxed{}}{9} + \frac{3}{4} = \frac{29}{36}$

分子の 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算①（分母が ちがう たし算・ひき算）【こたえ】

なまえ _____

小5／分母を そろえて □に入る 分子を 見つける 6もん

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{3}}{4} + \frac{1}{6} = \frac{11}{12}$$

やりかた 答えから もどして、□の 分数を 見つける

① 分母を そろえる。4と6の 最小公倍数は 12。 $\frac{1}{6} = \frac{2}{12}$

② もどす。 $\frac{\square}{4} = \frac{11}{12} - \frac{2}{12} = \frac{9}{12}$

③ 約分する。 $\frac{9}{12} = \frac{3}{4}$ だから □は 3

ひき算の れい（□が ひく数） $\frac{4}{5} - \frac{\square}{3} = \frac{2}{15} \rightarrow \frac{\square}{3} = \frac{12}{15} - \frac{2}{15} = \frac{10}{15} = \frac{2}{3}$ □は 2

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 数を書こう。下の わくには、分母を そろえた 式を書こう。

A たし算 分母を そろえてから、□の 分数に もどそう _____

A1 $\frac{\boxed{4}}{7} + \frac{1}{4} = \frac{23}{28}$

A2 $\frac{1}{6} + \frac{\boxed{5}}{8} = \frac{19}{24}$

分母を そろえた 式

$$\frac{23}{28} - \frac{1}{4} = \frac{16}{28} = \frac{4}{7}$$

分母を そろえた 式

$$\frac{19}{24} - \frac{1}{6} = \frac{15}{24} = \frac{5}{8}$$

B ひき算 □が ひかれる数なら 答え+ひく数、ひく数なら ひかれる数-答え でもどす _____

B1 $\frac{\boxed{6}}{7} - \frac{1}{3} = \frac{11}{21}$

B2 $\frac{5}{6} - \frac{\boxed{7}}{9} = \frac{1}{18}$

分母を そろえた 式

$$\frac{11}{21} + \frac{1}{3} = \frac{18}{21} = \frac{6}{7}$$

分母を そろえた 式

$$\frac{5}{6} - \frac{1}{18} = \frac{14}{18} = \frac{7}{9}$$

C 答えが 約分して ある 答えも そろえた 分母に なおそう _____

C1 $\frac{\boxed{1}}{3} + \frac{5}{12} = \frac{3}{4}$

C2 $\frac{9}{10} - \frac{\boxed{2}}{5} = \frac{1}{2}$

分母を そろえた 式

答えを なおす $\frac{3}{4} = \frac{9}{12}$

$$\frac{9}{12} - \frac{5}{12} = \frac{4}{12} = \frac{1}{3}$$

分母を そろえた 式

答えを なおす $\frac{1}{2} = \frac{5}{10}$

$$\frac{9}{10} - \frac{5}{10} = \frac{4}{10} = \frac{2}{5}$$

丸つけの めやす

□の 数が 合えば 正解。わくの 式は 書いて いなくても よい（書いて あれば、そろえた 分母が 最小公倍数か を 見る）。

分母を 見ずに 分子だけでもどすと まちがえる（A1 なら 分子だけ ひいて 23-1=22）。

その 22を □に 書くと 22/7 になり、1より 大きい 分数に なってしまう（きまりに 合わない）。

B2 は □が ひく数。5/6 から 答えを ひいて もどす。答えに たすと 8/9 になり、□=8 と まちがえる。

C は 答えを なおしてから もどす（C1 なら 3/4 を 9/12 に）。

声かけ：つまずいたら「7と4、どちらでも わり切れる いちばん 小さい 数は？」と 聞いてください。

分数の虫食い算②（分母が □）【こたえ】

小5／□に入る 分母を 約分で 見つける 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

やりかた 答えから もどして、さいごまで 約分する

$$\frac{2}{\boxed{5}} + \frac{1}{6} = \frac{17}{30}$$

① 分母を そろえる。6と30（答えの 分母）の 最小公倍数は 30。 $\frac{1}{6} = \frac{5}{30}$

② もどす。 $\frac{2}{\boxed{}} = \frac{17}{30} - \frac{5}{30} = \frac{12}{30}$

③ 約分する。 $\frac{12}{30} = \frac{6}{15} = \frac{2}{5}$ 分子が 2に なったので □は 5

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 分母を 書こう。もどした 分数は さいごまで 約分しよう。

1 $\frac{3}{\boxed{8}} + \frac{1}{12} = \frac{11}{24}$

2 $\frac{1}{12} + \frac{7}{\boxed{9}} = \frac{31}{36}$

分母を そろえた 式

$$\frac{11}{24} - \frac{1}{12} = \frac{9}{24} = \frac{3}{8}$$

分母を そろえた 式

$$\frac{31}{36} - \frac{1}{12} = \frac{28}{36} = \frac{14}{18} = \frac{7}{9}$$

3 $\frac{2}{\boxed{3}} - \frac{5}{8} = \frac{1}{24}$

4 $\frac{3}{4} - \frac{2}{\boxed{7}} = \frac{13}{28}$

分母を そろえた 式

$$\frac{1}{24} + \frac{5}{8} = \frac{16}{24} = \frac{8}{12} = \frac{4}{6} = \frac{2}{3}$$

分母を そろえた 式

$$\frac{21}{28} - \frac{13}{28} = \frac{8}{28} = \frac{4}{14} = \frac{2}{7}$$

5 $\frac{3}{\boxed{4}} - \frac{1}{9} = \frac{23}{36}$

6 $\frac{1}{8} + \frac{5}{\boxed{6}} = \frac{23}{24}$

分母を そろえた 式

$$\frac{23}{36} + \frac{1}{9} = \frac{27}{36} = \frac{9}{12} = \frac{3}{4}$$

分母を そろえた 式

$$\frac{23}{24} - \frac{5}{6} = \frac{20}{24} = \frac{10}{12} = \frac{5}{6}$$

丸つけの めやす

□の 数が 合えば 正解。わくの 式は 書いて いなくても よい。

約分を とちゅうで やめると まちがえる（2 は 28/36 の 36 や 14/18 の 18 を 書いて しまう。正しくは 7/9）。

分子が □の 分数の 分子（2 なら 7）に なるまで 約分すると、その 分母が □。

ひき算の □が ひかれる数（3・5）は 答え+ひく数、ひく数（4）は ひかれる数-答え でもどす。

声かけ：つまずいたら「分子が 見えている 数に なるまで 約分できた？」と 聞いてください。

分数の虫食い算③（□が 2つ）【こたえ】

小5/2つの □を 分子の 式で しぼる 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{2}}{3} + \frac{\boxed{1}}{4} = \frac{11}{12}$$

やりかた 分子の 式を 立てて、1組に しぼる

① 分母を 12に そろえると、左の □は 4ばい、右の □は 3ばい。

② 分子の 式は $4 \times \text{左} + 3 \times \text{右} = 11$ 。左は 3より 小さい。

③ 左が 1だと 右が 整数に ならない。左が 2なら $4 \times 2 + 3 \times 1 = 11$

④ だから 左は 2、右は 1。 $\frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{11}{12}$

ひき算の れい $\frac{\square}{4} - \frac{\square}{6} = \frac{1}{12} \rightarrow$ 分子の 式は $3 \times \text{左} - 2 \times \text{右} = 1$ 。組は 左1・右1 と 左3・右4 の 2つ。

組が 2つ できたら、約分できない 形の 組を えらぶ。 $\frac{4}{6}$ は 約分できるので、答えは 左1・右1。

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

2つの □に 入る 数を書こう。どの分数も 1より 小さく、約分できない 形だよ。

1 $\frac{\boxed{3}}{7} + \frac{\boxed{1}}{3} = \frac{16}{21}$

分子の 式

21に そろえた 分子 : $3 \times 3 + 7 \times 1 = 16$

2 $\frac{\boxed{2}}{5} + \frac{\boxed{3}}{7} = \frac{29}{35}$

分子の 式

35に そろえた 分子 : $7 \times 2 + 5 \times 3 = 29$

3 $\frac{\boxed{4}}{5} - \frac{\boxed{1}}{4} = \frac{11}{20}$

分子の 式

20に そろえた 分子 : $4 \times 4 - 5 \times 1 = 11$

4 $\frac{\boxed{3}}{4} - \frac{\boxed{4}}{9} = \frac{11}{36}$

分子の 式

36に そろえた 分子 : $9 \times 3 - 4 \times 4 = 11$

5 $\frac{\boxed{5}}{6} + \frac{\boxed{1}}{8} = \frac{23}{24}$

分子の 式

24に そろえた 分子 : $4 \times 5 + 3 \times 1 = 23$

(左2・右5 は $\frac{2}{6}$ が 約分できるので ×)

6 $\frac{\boxed{5}}{6} - \frac{\boxed{4}}{9} = \frac{7}{18}$

分子の 式

18に そろえた 分子 : $3 \times 5 - 2 \times 4 = 7$

(左3・右1 は $\frac{3}{6}$ が 約分できるので ×)

丸つけの めやす

2つの □が 両方 合えば 正解。わくの 式は 書いて いなくても よい。

5・6 は 1より 小さい 組が 2つ できる (5: 左2・右5 と 左5・右1) 。約分できる 方 は ずす。

ひき算 (3・4・6) は 1より 小さい きまりが ないと 組が いくつも できる (3: 左9・右5 も 式は 合う) 。

思いついた 組を 書いて いたら、分子の 式 (わくの 赤) に 入れて たしかめさせて ください。

声かけ : つまづいたら「24に そろえると、□は それぞれ 何ばいになる？」と 聞いて ください。

分数の虫食い算④（帯分数の ひき算） 【こたえ】

なまえ _____

小5／帯分数の ひき算で □を もどす 6もん

ひづけ _____

れい

やりかた ひけない ときは、整数から 1 くり下げて もどす

$$4\frac{1}{2} - 2\frac{\boxed{8}}{9} = 1\frac{11}{18}$$

① 分母を そろえる。2と9の 最小公倍数は 18。 $\frac{1}{2} = \frac{9}{18}$

② もどす。 $2\frac{\boxed{}}{9} = 4\frac{9}{18} - 1\frac{11}{18}$

③ $\frac{9}{18}$ から $\frac{11}{18}$ は ひけないので、 $4\frac{9}{18} = 3\frac{27}{18}$

④ $3\frac{27}{18} - 1\frac{11}{18} = 2\frac{16}{18} = 2\frac{8}{9}$ だから □は 8

□が ひかれる数なら 答え+ひく数で もどし、分数の 部分が 1を こえたら 整数に 1 くり上げる。

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 帯分数の 分数の 部分は 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に 入る 数 を 書こう。分数の 部分が ひけない ときは、整数から 1 くり下げよう。

$$1 \quad 4\frac{1}{5} - 2\frac{\boxed{5}}{6} = 1\frac{11}{30}$$

$$2 \quad 5\frac{1}{6} - 2\frac{\boxed{3}}{8} = 2\frac{19}{24}$$

分母を そろえた 式

$$4\frac{6}{30} = 3\frac{36}{30} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$3\frac{36}{30} - 1\frac{11}{30} = 2\frac{25}{30} = 2\frac{5}{6}$$

分母を そろえた 式

$$5\frac{4}{24} = 4\frac{28}{24} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$4\frac{28}{24} - 2\frac{19}{24} = 2\frac{9}{24} = 2\frac{3}{8}$$

$$3 \quad 5\frac{\boxed{2}}{3} - 3\frac{4}{5} = 1\frac{13}{15}$$

$$4 \quad 3\frac{1}{4} - 1\frac{\boxed{4}}{9} = 1\frac{29}{36}$$

分母を そろえた 式

$$1\frac{13}{15} + 3\frac{12}{15} = 4\frac{25}{15}$$

$$= 5\frac{10}{15} \quad (1 \text{ くり上げ}) = 5\frac{2}{3}$$

分母を そろえた 式

$$3\frac{9}{36} = 2\frac{45}{36} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$2\frac{45}{36} - 1\frac{29}{36} = 1\frac{16}{36} = 1\frac{4}{9}$$

$$5 \quad 5\frac{\boxed{7}}{9} - 2\frac{5}{6} = 2\frac{17}{18}$$

$$6 \quad 3\frac{2}{5} - 1\frac{\boxed{6}}{7} = 1\frac{19}{35}$$

分母を そろえた 式

$$2\frac{17}{18} + 2\frac{15}{18} = 4\frac{32}{18}$$

$$= 5\frac{14}{18} \quad (1 \text{ くり上げ}) = 5\frac{7}{9}$$

分母を そろえた 式

$$3\frac{14}{35} = 2\frac{49}{35} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$2\frac{49}{35} - 1\frac{19}{35} = 1\frac{30}{35} = 1\frac{6}{7}$$

丸つけの めやす

□の 数が 合えば 正解。わくの 式は 書いて いなくても よい。

分数の 部分の 大きい方から 小さい方 を ひくと まちがえる (1 なら 11-6 で □=1 になる。正しくは 5) 。

□が ひく数 (1・2・4・6) は ひかれる数-答え。分数の 部分が ひけないので 整数から 1 くり下げる。

□が ひかれる数 (3・5) は 答え+ひく数。分数の 部分が 1を こえるので 整数に 1 くり上げる。

声かけ：つまずいたら「分数の 部分どうしは ひける？」と 聞いてください。

分数の虫食い算⑤（3つの 分数）【こたえ】

なまえ _____

小5／3つの 分母を そろえて □を 見つける 6もん

ひづけ _____

れい

やりかた 3つの 分母を いったんに そろえる

$$\frac{\boxed{1}}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} = \frac{7}{12}$$

① 2と3と4の 最小公倍数は 12。3つとも 12に そろえる。

② $\frac{1}{3} = \frac{4}{12}$ 、 $\frac{1}{4} = \frac{3}{12}$ 、 $\frac{\boxed{}}{2}$ は 分子が $6 \times \square$

③ 分子の 式 $6 \times \square + 4 - 3 = 7$ から $6 \times \square = 7 - 4 + 3 = 6$ 。□は 1

□の 前が -の ときは、ほかの 分子を 先に 計算して、その 数から 答えの 分子を ひく。

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に 入る 数を書こう。下の わくには、分子の 式を書こう。

1 $\frac{\boxed{5}}{6} + \frac{1}{2} - \frac{4}{9} = \frac{8}{9}$

2 $\frac{3}{4} - \frac{2}{3} + \frac{\boxed{8}}{9} = \frac{35}{36}$

分子の 式

答えを なおす $\frac{8}{9} = \frac{16}{18}$

18に そろえた 分子 : $3 \times 5 + 9 - 8 = 16$

分子の 式

36に そろえた 分子 : $27 - 24 + 4 \times 8 = 35$

3 $\frac{1}{4} + \frac{\boxed{3}}{8} + \frac{1}{6} = \frac{19}{24}$

4 $\frac{1}{2} + \frac{4}{5} - \frac{\boxed{2}}{3} = \frac{19}{30}$

分子の 式

24に そろえた 分子 : $6 + 3 \times 3 + 4 = 19$

分子の 式

30に そろえた 分子 : $15 + 24 - 10 \times 2 = 19$

5 $\frac{\boxed{7}}{8} - \frac{1}{2} - \frac{1}{3} = \frac{1}{24}$

6 $\frac{1}{2} - \frac{\boxed{4}}{9} + \frac{3}{4} = \frac{29}{36}$

分子の 式

24に そろえた 分子 : $3 \times 7 - 12 - 8 = 1$

分子の 式

36に そろえた 分子 : $18 - 4 \times 4 + 27 = 29$

丸つけの めやす

□の 数が 合えば 正解。わくの 式は 書いて いなくても よい。

前の 2つだけ そろえると 分母が 1つに ならない (1: 6と2 なら 6、3つ そろえると 18)。

□の 前が -の 問題 (4・6) は、ほかの 分子を 計算した 数から 答えの 分子を ひく。

1 は 答えが 約分して ある ($8/9 = 16/18$ に なおしてから)。

声かけ : つまずいたら「3つの 分母の どれでも わり切れる いちばん 小さい 数は？」と 聞いてください。